



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年8月10日

上場会社名 小池酸素工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6137 URL http://www.koikeox.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横田 修
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 富岡 恭三 TEL 03-3624-3111
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|------|-------|------|-------|----------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年3月期第1四半期 | 10,606 | 10.6 | 364 | 553.8 | 231 | 114.0 | 116 | — |
| 27年3月期第1四半期 | 9,593 | 8.6 | 55 | — | 108 | — | 1 | — |

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 232百万円 (—%) 27年3月期第1四半期 △23百万円 (—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期第1四半期 | 2.81 | — |
| 27年3月期第1四半期 | 0.02 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 28年3月期第1四半期 | 55,750 | 29,132 | 48.8 | 657.50 |
| 27年3月期 | 56,264 | 29,219 | 48.6 | 660.05 |

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 27,217百万円 27年3月期 27,323百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期 | — | — | — | 7.00 | 7.00 |
| 28年3月期 | — | — | — | — | — |
| 28年3月期(予想) | — | — | — | 7.00 | 7.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

27年3月期期末配当金の内訳 普通配当 6円00銭 特別配当 1円00銭

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|-----|-------|------|-------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 22,800 | 6.8 | 800 | 74.3 | 850 | 47.8 | 450 | 90.7 | 10.87 |
| 通期 | 47,400 | 3.2 | 2,000 | 31.1 | 2,100 | 29.4 | 1,100 | 20.7 | 26.57 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 28年3月期1Q | 45,229,332株 | 27年3月期 | 45,229,332株 |
| ② 期末自己株式数 | 28年3月期1Q | 3,834,630株 | 27年3月期 | 3,833,686株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 28年3月期1Q | 41,394,990株 | 27年3月期1Q | 41,404,508株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |
| 4. 補足情報 | 9 |
| 生産、受注及び販売の状況 | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、欧州経済の停滞や中国経済の減速が見られましたが、米国経済が堅調に推移したことなどにより緩やかな回復が続きました。

一方、わが国経済は、政府の経済政策や日本銀行の金融緩和を背景とした企業収益や雇用情勢の改善により、個人消費に持ち直しの動きが見られるなど、景気は緩やかに回復しました。

当社グループの主需要先である建設・建築業界では労働力不足、資材価格の上昇による建設工事の遅れや産業機械業界では受注の減少などがありましたが、造船業界では手持ち工事量に回復が見られました。

このような状況のもと、当社グループは世界市場に向けた新技術・新製品の開発、また、収益確保を目指した原価低減、経営の効率化に取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は106億6百万円（前年同期比10.6%増）、営業利益は3億64百万円（同553.8%増）、経常利益は2億31百万円（同114.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億16百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益1百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

機械装置

機械装置部門においては、4月にKOIKEテクノセンターにて開催した2015年KOIKEプライベートフェアに、定尺サイズの厚板高速加工が可能なファイバーレーザー切断機「FIBERTEC-Zシリーズ」や新型プラズマ切断装置「SUPER-400PRO-II」などの新製品を展示するとともに、ファイバーレーザー切断機のユーザーを講師としてセミナーを開催し、好評を得ることができました。また、省エネ補助金などを活用し、「FIBERTEC-Zシリーズ」の受注につなげることができました。さらに、新型プラズマ切断装置「SUPER-400PRO-II」も販売が好調に推移し、受注が増加しました。

海外においては、中国で開催された北京エッセンショーに、ナビゲーションシステム搭載のCNC切断機を出展するとともに、造船業界向けのセミナーを開催し、工程の自動化について関心が寄せられ、多くの来場者を集めることができました。また、タイやインドネシアの展示会に小型CNC切断機などを出展し、積極的な営業活動を行いました。

生産・開発面においては、生産性向上およびコストダウンのため、部品の共通化や仕様の標準化、資材費の削減を推進しました。引き続き、顧客の品質や生産性向上に貢献できる製品の開発を進めてまいります。

その結果、売上高は45億83百万円（前年同期比28.5%増）、セグメント利益は3億17百万円（同274.5%増）となりました。

高圧ガス

高圧ガス部門においては、切断・溶接装置の販売に伴う新規ガス獲得活動を最重点項目として取り組み、多くの受注につなげることができました。また、水素ベース溶断用混合ガスについては、2015年KOIKEプライベートフェアにて、セミナーの開催や実演を行い、その引き合い先に対して、受注活動に努めました。

工業用ガスにおいては、鉄鋼関連を中心に酸素・窒素などの主要ガス販売量は前年並みに推移しましたが、アセチレン・ヘリウムは市場の需要が落ち込み、販売量が減少しました。

生産面においては、ガス製造工場のメンテナンスや医療用ガス製造の管理強化を実施し、保安確保・品質確保・安定供給・原価低減を推進しました。

医療分野においては、製品改良を行った「ジャスミン」（睡眠時無呼吸症候群治療装置）や営業強化・稼働率向上に取り組んだ酸素濃縮器の契約件数を伸ばすことができました。また、新製品「KM5 5 touch」（軽量静音型酸素濃縮器）の売上を順調に伸ばすことができました。

その結果、売上高は37億78百万円（前年同期比2.4%減）、セグメント利益は2億42百万円（同37.0%増）となりました。

溶接機材

溶接機材部門においては、当社の主需要先である建築・鉄骨向けの各種工事に一服感があったものの、溶接材料の需要が堅調に推移したため、昨年を上回る販売量となりました。

溶接機器においては、2015年KOIKEプライベートフェアにて、今後の需要増が見込まれる水素ガスに主眼を置き、水素ガスに対応するホースを初めて出展し、販売を開始するとともに、水素ガス用逆火防止器の受注活動にも努めました。また、溶接を主体とした各種展示会へも参加し、溶接機の実演ならびに溶接関連商品のPRを行い、成果を得ることができました。さらに、逆火事故を未然に防止するための安全器を大手ユーザーより新規に受注を獲得し、増販につなげることができ、また、輸入商品の販売についても好調に推移しました。

その結果、売上高は21億94百万円（前年同期比7.7%増）、セグメント利益は55百万円（同52.4%増）となりました。

その他

その他の部門においては、ガス機器の品質向上・原価低減への取組、積極的な営業活動を行い、大学研究機関へ今年度末にヘリウム液化機2台の納入が予定されております。

排ガス処理装置においては、営業体制強化や原価低減を行い、台湾・中国を中心に受注台数を増加することができましたが、第1四半期での納入にはいたりませんでした。引き続き、SEMI規格取得を含めた品質向上に取り組むとともに、国内外に対して積極的な営業展開を図ってまいります。

その結果、売上高は48百万円（前年同期比58.6%減）、セグメント損失は14百万円（前年同期はセグメント損失10百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は557億50百万円で、前連結会計年度末比5億13百万円の減少となりました。

流動資産合計は317億67百万円で、前連結会計年度末比4億35百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金が5億43百万円増加の一方、受取手形及び売掛金が13億60百万円減少したことによるものです。

固定資産合計は239億83百万円で、前連結会計年度末比77百万円の減少となりました。これは主に減価償却費の計上により有形固定資産が1億36百万円減少したことによるものです。

(負債)

流動負債合計は196億88百万円で、前連結会計年度末比3億19百万円の減少となりました。これは主に短期借入金金が85百万円減少、未払法人税等が2億15百万円減少したことによるものです。

固定負債合計は69億29百万円で、前連結会計年度末比1億7百万円の減少となりました。これは主に長期借入金が1億33百万円減少したことによるものです。

(純資産)

純資産合計は291億32百万円で、前連結会計年度末比86百万円の減少となりました。これは主に配当金の支払により利益剰余金が1億73百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は48.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月13日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。詳細につきましては、「平成27年3月期決算短信」3ページ1. 経営成績 (1) 経営成績に関する分析 (2) 次期（平成28年3月期）の見通しを参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 8,881 | 9,425 |
| 受取手形及び売掛金 | 14,024 | 12,664 |
| 商品及び製品 | 4,955 | 4,957 |
| 仕掛品 | 1,278 | 1,688 |
| 原材料及び貯蔵品 | 2,152 | 2,161 |
| その他 | 1,165 | 1,128 |
| 貸倒引当金 | △256 | △259 |
| 流動資産合計 | 32,203 | 31,767 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 4,395 | 4,325 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 1,711 | 1,631 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 496 | 479 |
| 土地 | 9,883 | 9,863 |
| リース資産(純額) | 954 | 1,010 |
| 建設仮勘定 | 89 | 83 |
| 有形固定資産合計 | 17,531 | 17,394 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 38 | 34 |
| リース資産 | 4 | 3 |
| その他 | 203 | 210 |
| 無形固定資産合計 | 246 | 248 |
| 投資その他の資産 | 6,283 | 6,340 |
| 固定資産合計 | 24,061 | 23,983 |
| 資産合計 | 56,264 | 55,750 |

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 11,008 | 10,970 |
| 短期借入金 | 3,547 | 3,461 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,065 | 1,062 |
| 1年内償還予定の社債 | 40 | 40 |
| 未払法人税等 | 441 | 226 |
| 賞与引当金 | 536 | 562 |
| 役員賞与引当金 | 65 | 15 |
| 受注損失引当金 | 15 | 2 |
| 製品保証引当金 | 66 | 63 |
| その他 | 3,222 | 3,284 |
| 流動負債合計 | 20,007 | 19,688 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 20 | 20 |
| 長期借入金 | 1,859 | 1,726 |
| 役員退職慰労引当金 | 220 | 207 |
| 退職給付に係る負債 | 143 | 131 |
| 資産除去債務 | 14 | 14 |
| その他 | 4,778 | 4,830 |
| 固定負債合計 | 7,037 | 6,929 |
| 負債合計 | 27,045 | 26,618 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 4,028 | 4,028 |
| 資本剰余金 | 2,357 | 2,357 |
| 利益剰余金 | 17,545 | 17,371 |
| 自己株式 | △916 | △917 |
| 株主資本合計 | 23,014 | 22,840 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,692 | 1,723 |
| 繰延ヘッジ損益 | △1 | — |
| 土地再評価差額金 | 1,355 | 1,355 |
| 為替換算調整勘定 | 924 | 969 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 338 | 328 |
| その他の包括利益累計額合計 | 4,309 | 4,376 |
| 非支配株主持分 | 1,895 | 1,915 |
| 純資産合計 | 29,219 | 29,132 |
| 負債純資産合計 | 56,264 | 55,750 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日) |
|------------------|---------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 売上高 | 9,593 | 10,606 |
| 売上原価 | 7,005 | 7,727 |
| 売上総利益 | 2,587 | 2,879 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,532 | 2,514 |
| 営業利益 | 55 | 364 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 6 | 7 |
| 受取配当金 | 28 | 32 |
| 受取賃貸料 | 26 | 29 |
| 持分法による投資利益 | 1 | 7 |
| 貸倒引当金戻入額 | 37 | 32 |
| その他 | 24 | 20 |
| 営業外収益合計 | 124 | 129 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 34 | 28 |
| 賃貸費用 | 14 | 7 |
| 為替差損 | 4 | 218 |
| その他 | 20 | 8 |
| 営業外費用合計 | 72 | 262 |
| 経常利益 | 108 | 231 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 20 | 42 |
| 特別利益合計 | 20 | 42 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 3 | 14 |
| 減損損失 | 3 | — |
| のれん償却額 | 10 | — |
| 事務所移転費用 | 5 | — |
| その他 | 0 | — |
| 特別損失合計 | 24 | 14 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 104 | 259 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 77 | 191 |
| 法人税等調整額 | △2 | △96 |
| 法人税等合計 | 74 | 94 |
| 四半期純利益 | 29 | 165 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 28 | 48 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1 | 116 |

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日) |
|-----------------|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 四半期純利益 | 29 | 165 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 145 | 35 |
| 繰延ヘッジ損益 | △0 | 1 |
| 為替換算調整勘定 | △193 | 39 |
| 退職給付に係る調整額 | △5 | △9 |
| その他の包括利益合計 | △53 | 67 |
| 四半期包括利益 | △23 | 232 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △37 | 183 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 14 | 48 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至 平成26年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|---------------------------|---------|-------|-------|-------|--------------|-------|--------------|--------------------------------|
| | 機械装置 | 高压ガス | 溶接機材 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 3,566 | 3,871 | 2,037 | 9,475 | 118 | 9,593 | — | 9,593 |
| セグメント間 の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 3,566 | 3,871 | 2,037 | 9,475 | 118 | 9,593 | — | 9,593 |
| セグメント利益 又は損失 (△) | 84 | 177 | 36 | 298 | △10 | 287 | △231 | 55 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃焼式排ガス処理装置、ヘリウム液化機の製造・仕入・販売が含まれております。

2. セグメント利益の調整額△231百万円には、のれんの償却額△2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△251百万円及びたな卸資産の調整額△70百万円、その他の調整額93百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至 平成27年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|---------------------------|---------|-------|-------|--------|--------------|--------|--------------|--------------------------------|
| | 機械装置 | 高压ガス | 溶接機材 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 4,583 | 3,778 | 2,194 | 10,557 | 48 | 10,606 | — | 10,606 |
| セグメント間 の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 4,583 | 3,778 | 2,194 | 10,557 | 48 | 10,606 | — | 10,606 |
| セグメント利益 又は損失 (△) | 317 | 242 | 55 | 615 | △14 | 601 | △236 | 364 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃焼式排ガス処理装置、ヘリウム液化機の製造・仕入・販売が含まれております。

2. セグメント利益の調整額△236百万円には、のれんの償却額△4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△255百万円及びたな卸資産の調整額△10百万円、その他の調整額34百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第1四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日) | 前年同四半期比 (%) |
|----------------|-----------------------------------------------|-------------|
| 機械装置 (百万円) | 4,311 | 113.8 |
| 高压ガス (百万円) | 87 | 88.7 |
| 報告セグメント計 (百万円) | 4,398 | 113.1 |
| その他 (百万円) | — | — |
| 合計 (百万円) | 4,398 | 113.1 |

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第1四半期連結累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 受注高 (百万円) | 前年同四半期比 (%) | 受注残高 (百万円) | 前年同四半期比 (%) |
|----------|-----------|-------------|------------|-------------|
| 機械装置 | 3,818 | 109.0 | 6,545 | 125.7 |

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。
3. 受注高及び受注残高につきましては、標準機・部品等の金額を含めておりません。

(3) 販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日) | 前年同四半期比 (%) |
|----------------|-----------------------------------------------|-------------|
| 機械装置 (百万円) | 4,583 | 128.5 |
| 高压ガス (百万円) | 3,778 | 97.6 |
| 溶接機材 (百万円) | 2,194 | 107.7 |
| 報告セグメント計 (百万円) | 10,557 | 111.4 |
| その他 (百万円) | 48 | 41.4 |
| 合計 (百万円) | 10,606 | 110.6 |

- (注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。